

Ⅱ 教科に関する調査の結果と考察

1 全体的傾向

【国語の結果】

〈小学校〉

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することや登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに成果が見られる。一方、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られる。

〈中学校〉

資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことに成果が見られる。一方、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることや文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題が見られる。

【算数・数学の結果】

〈小学校〉

計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することや直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解することに成果が見られる。一方、球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題が見られる。

〈中学校〉

問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができることや与えられたデータから最頻値を求めることに成果が見られる。一方、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することや事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られる。

(1) 各教科の平均正答率（平成29年度から各都道府県教育委員会及び各指定都市の結果は整数で公表）

【小学校】

(単位：%)

教科	国語			算数		
	国	県	市	国	県	市
R4 年度	65.6	67	67	63.2	64	65
R5 年度	67.2	69	68	62.5	64	64
R6 年度	67.7	69	69	63.4	64	64

【中学校】

(単位：%)

教科	国語			数学		
	国	県	市	国	県	市
R4 年度	69.0	69	69	51.4	50	51
R5 年度	69.8	70	70	51.0	49	50
R6 年度	58.1	58	57	52.5	52	51

(2) 正答率ごとの児童生徒の割合

【小学校】

＜広島市の状況＞

教 科	国語			算数		
	R06	R05	R04	R06	R05	R04
正答率80%以上の割合	31.6	29.6	32.2	35.0	31.1	31.8
正答率60%以上80%未満の割合	36.9	39.8	33.4	26.9	30.8	32.1
正答率30%以上60%未満の割合	24.6	23.8	25.3	28.2	29.5	28.7
正答率30%未満の割合	6.9	6.9	9.1	9.8	8.5	7.3

＜全国の状況＞

教 科	国語			算数		
	R06	R05	R04	R06	R05	R04
正答率80%以上の割合	30.0	27.1	28.4	33.7	30.0	30.2
正答率60%以上80%未満の割合	36.5	39.6	34.6	26.4	29.2	31.0
正答率30%以上60%未満の割合	25.8	26.2	26.8	29.4	31.2	29.9
正答率30%未満の割合	7.7	7.0	10.2	10.4	9.8	8.9

【中学校】

＜広島市の状況＞

教 科	国語			数学		
	R06	R05	R04	R06	R05	R04
正答率80%以上の割合	21.3	45.8	29.2	17.2	17.5	12.0
正答率60%以上80%未満の割合	32.2	30.2	41.0	21.3	23.1	26.5
正答率30%以上60%未満の割合	33.4	18.4	23.2	40.9	33.7	34.6
正答率30%未満の割合	13.1	5.7	6.7	20.7	25.8	26.9

＜全国の状況＞

教 科	国語			数学		
	R06	R05	R04	R06	R05	R04
正答率80%以上の割合	23.3	46.3	31.1	20.4	19.8	13.0
正答率60%以上80%未満の割合	31.4	28.1	39.2	21.1	23.6	26.9
正答率30%以上60%未満の割合	32.7	18.5	22.9	38.3	31.6	34.0
正答率30%未満の割合	12.6	7.1	6.7	20.3	25.0	26.0